

シンジケートローンエージェント業務における クラウドサービスの導入について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、DX 推進に向けた取り組みの一つであるペーパレス化の推進を実現すべく、このたび、シンジケートローンエージェント業務にクラウドサービス（※）を導入しました。

シンジケートローンとは、複数の金融機関等がシンジケート団を組み、同一の融資契約書に基づき、同一条件にて行う融資取引です。シンジケートローンにおいては、期中管理業務として、契約書に定められた業務（元利金・手数料等の資金決済業務、意思結集等）を行うエージェントが置かれます。

みずほ銀行は、エージェントとして、期中管理業務において年間約 26 万件の通知を行っています。新たに導入したサービスでは、通知に係る書面等をクラウドで閲覧またはダウンロードすることが可能となり、関係者のペーパレス化による紙資源およびコスト削減の推進と、電子データ化による業務効率化への貢献が期待できます。

【本サービスのスキーム図】



関係者の皆さまには、今後順次 WEB 通知導入についてご案内します。

これからもみずほ銀行は、DX 推進に向けた取り組みを通じて、サービスの向上に努めるとともに、持続可能な社会の実現に向け、お客さまとともに挑戦していきます。

※ クラウドルーム SS&C Intralinks はインターネットを介して、ドキュメントファイルの管理・開示・送付を実現するクラウドサービス

以上